

(お知らせ)

令和元年5月30日
防 衛 省

千葉県銚子市いぬぼうさき犬吠埼沖における船舶衝突事故に伴う行方不明者救助に係る災害派遣について
(11時00分現在)

※数値等は速報値であり、今後変わることがある。

※下線部は、前回報告からの変更箇所

1. 概要

令和元年5月26日(日)未明、千葉県銚子市犬吠埼沖において民間船舶(貨物船)2隻が衝突し、うち1隻が沈没し、乗組員3名が行方不明になった。27日17時30分、第三管区海上保安本部長から自衛艦隊司令官(横須賀)に対して、民間船舶の行方不明者救助に係る災害派遣要請があった。

2. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 海 自 自衛艦隊司令部(横須賀)、潜水艦救難艦「ちよだ」(横須賀)、第21航空群(館山)、第4航空群(厚木)、潜水医学実験隊(横須賀)
- (2) 活動規模 艦 艇 延べ3隻
航空機 1機 (延べ3機)

(3) 活動内容

- 海上保安庁の潜水搜索支援(潜水艦救難艦「ちよだ」を拠点)
- 行方不明者の海面搜索

(4) 主な対応状況

活動部隊の状況

【27日(月)】

- 17時30分 第三管区海上保安本部長から自衛艦隊司令官に対して、行方不明者救助に係る**災害派遣要請**。
- 20時22分 潜水艦救難艦「ちよだ」が、停泊している徳島県沖を出港。

【28日(火)】

- 11時48分以降 第21航空群のUH-60×1機が、潜水医学実験隊の医官等を潜水艦救難艦「ちよだ」に空輸。
- 13時56分 潜水艦救難艦「ちよだ」が現場海域に到着。
- 18時45分以降 海上保安庁のヘリが、海上保安庁の特殊救難隊員及び器材を潜水艦救難艦「ちよだ」に空輸。
- 21時00分以降 海上保安庁の特殊救難隊員が、潜水搜索を開始。

【29日(水)】

- 07時00分以降 海上保安庁の特殊救難隊員による船内未搜索部分の潜水搜索が再開。
- 09時50分 行方不明者の搜索範囲を船内から周辺海域に拡大することに伴い、第4航空群のP-1×1機が、搜索活動のため基地を離陸(じ後、搜索活動を開始し、17時49分に活動を終了)。
- 15時00分 潜水艦救難艦「ちよだ」は、海上保安庁の潜水搜索支援を終了し、現場海域から離脱。

【30日(木)】

- 10時08分 第4航空群のP-1×1機が、現場周辺海域の搜索活動のため基地を離陸(じ後、搜索活動を開始)。